

- このマップは、水防法にもとづき指定された、琵琶湖がはん濫した場合に想定される浸水状況を示したものです。また、大雨のときに危険な箇所として、土砂災害のおそれがある箇所も示しています。被害の可能性がある場所をあらかじめ知っていただくことで、はん濫が起こったときの被害を少しでも少なくすることを目的として作成しています。
- このマップには琵琶湖に流れ込む河川のはん濫は含まれていません。着色がない地域でも状況によって浸水することがありますのでご注意ください。
- 洪水に対しては、事前の備えを行うことで被害を軽減(=減災)することができます。雨の降り方や浸水の状況に十分注意し、早めに避難することを心がけましょう。そして、いざという時に備えて、普段から次のようなことを心がけておくようにしましょう。

- 浸水した場合の範囲と浸水の深さ
- 避難に関する情報はどのように入手できるか
- 自分の家の周りの浸水の深さ
- 避難時の心得としてどのようなものがあるか
- どこに逃げるか

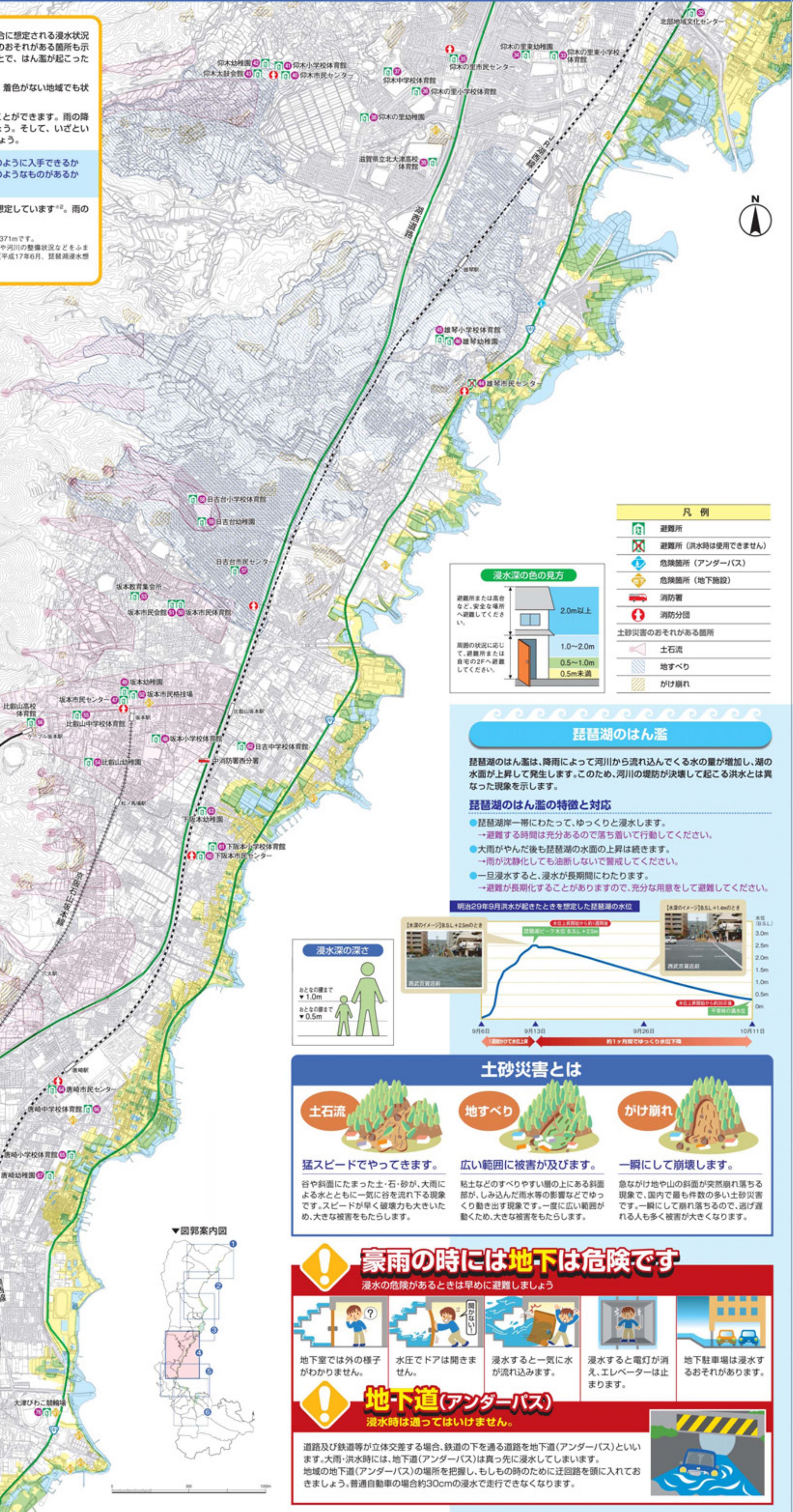
●このはん濫は、琵琶湖の水位がB.S.L.^{※1}+2.5mまで上昇した場合を想定しています^{※2}。雨の降り方や水位の状況により、浸水深は違ってきます。

※1 B.S.L.・・・Biwako Surface Levelの略。B.S.L.+0mは東京湾平均海面(T.P)では+84.371mです。
 ※2 明治29年9月洪水のときに琵琶湖に流れ込んだ水の量を使って、現在の琵琶湖湖岸や河川の整備状況などをふまえて計算すると、琵琶湖の水位はB.S.L.+2.5mまで上昇すると予測されています。(平成17年6月、琵琶湖浸水想定区域を国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所が公表)

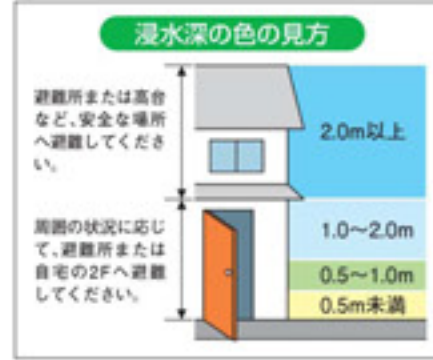
避難所

名称	住所	電話番号	想定浸水深	近くの避難所の番号
42 北部地域文化センター	堅田二丁目1-11	574-0140	—	—
43 仰木の里東小学校体育館	仰木の里東六丁目1-1	574-2245	—	—
44 仰木の里東幼稚園	仰木の里東六丁目4-1	574-1825	—	—
45 仰木の里市民センター	仰木の里七丁目2-5	573-7135	—	—
46 仰木の里小学校体育館	仰木の里四丁目6-1	572-1910	—	—
47 仰木中学校体育館	仰木の里五丁目1-1	574-3204	—	—
48 仰木の里幼稚園	仰木の里三丁目10-1	572-1312	—	—
49 滋賀県立北大津高校体育館	仰木の里一丁目23-1	573-5881	—	—
50 仰木市民センター	仰木四丁目15-11	572-0028	—	—
51 仰木小学校体育館	仰木四丁目15-8	572-1028	—	—
52 仰木幼稚園	仰木四丁目1-30	572-1117	—	—
53 仰木太鼓会館	仰木四丁目2-50	572-0028	—	—
54 雄琴市民センター	雄琴一丁目17-2	578-1035	0.5m未満	48 49
55 雄琴小学校体育館	雄琴二丁目16-1	578-1234	—	—
56 雄琴幼稚園	雄琴二丁目16-1	578-3875	—	—
57 坂本市民センター	坂本六丁目1-12	578-0015	—	—
58 坂本小学校体育館	坂本三丁目12-57	578-0516	—	—
59 坂本幼稚園	坂本六丁目1-12	578-0904	—	—
60 坂本市民体育館	坂本六丁目33-19	578-0335	—	—
61 坂本市民会館	坂本六丁目33-19	578-0335	—	—
62 坂本市格技場	坂本六丁目1-11	528-2637	—	—
63 坂本教育集会所	坂本六丁目11-48	579-1463	—	—
64 比叡山幼稚園	坂本四丁目8-31	578-0084	—	—
65 比叡山中学校体育館	坂本四丁目5	578-0132	—	—
66 比叡山高校体育館	坂本四丁目3-1	578-0091	—	—
67 日吉台市民センター	日吉台一丁目15-1	579-4518	—	—
68 日吉台小学校体育館	日吉台三丁目33-3	579-5033	—	—
69 日吉台幼稚園	日吉台三丁目33-2	579-4422	—	—
70 下阪本市民センター	下阪本三丁目14-30	578-0017	—	—
71 下阪本小学校体育館	下阪本四丁目10-1	578-0502	—	—
72 日吉中学校体育館	下阪本六丁目38-26	578-0056	—	—
73 下阪本幼稚園	下阪本四丁目15-12	578-1701	—	—
74 唐崎市民センター	唐崎二丁目10-1	579-5614	—	—
75 唐崎小学校体育館	唐崎四丁目7-1	525-2375	—	—
76 唐崎中学校体育館	唐崎二丁目9-1	579-2306	—	—
77 唐崎幼稚園	唐崎三丁目38-2	525-2401	—	—
78 埋蔵文化財調査センター	滋賀里一丁目17-23	527-1170	—	—
79 滋賀里コミュニティセンター	滋賀里一丁目9-11	525-3401	—	—
80 滋賀市民センター	南志賀一丁目8-32	522-2180	—	—
81 志賀小学校体育館	南志賀一丁目5-1	522-3729	—	—
82 志賀幼稚園	勸学一丁目8-1	522-2354	—	—
83 皇子が丘第2体育館	皇子が丘一丁目1-1	525-6970	—	—
84 皇子が丘公園体育館	皇子が丘一丁目1-1	525-0510	—	—
85 皇子が丘市民会館	皇子が丘一丁目10-1	525-3925	—	—
86 大津びわこ競輪場	二本松1-1	522-6736	—	—

浸水のおそれがある避難所は、状況によって使用できません。(地震等の災害時には状況によって使用可能となります。)
 「近くの避難所」欄に、浸水が想定されていない区域にある避難所の番号を示してありますので、そちらの避難所をご利用下さい。



- ### 凡例
- 避難所
 - 避難所(洪水時は使用できません)
 - 危険箇所(アンダーパス)
 - 危険箇所(地下施設)
 - 消防署
 - 消防分団
 - 土砂災害のおそれがある箇所
 - 土石流
 - 地すべり
 - がけ崩れ



琵琶湖のはん濫

琵琶湖のはん濫は、降雨によって河川から流れ込んでくる水の量が増加し、湖の水面が上昇して発生します。このため、河川の堤防が決壊して起こる洪水とは異なる現象を示します。

琵琶湖のはん濫の特徴と対応

- 琵琶湖岸一帯にわたって、ゆっくりと浸水します。
→避難する時間は充分あるので落ち着いて行動してください。
- 大雨がやんだ後も琵琶湖の水面の上昇は続きます。
→雨が沈静化しても油断しないで警戒してください。
- 一旦浸水すると、浸水が長期間にわたります。
→避難が長期化することがありますので、充分な用意をして避難してください。



土砂災害とは

土石流

猛スピードでやってきます。
谷や斜面にたまった土・石・砂が、大雨による水とともに一気に谷を流れ下る現象です。スピードが早く破壊力も大きいので、大きな被害をもたらします。

地すべり

広い範囲に被害が及びます。
粘土などのすべりやすい層の上にある斜面部が、しみ込んだ雨水等の影響などでゆっくり動き出す現象です。一度に広い範囲が動くため、大きな被害をもたらします。

がけ崩れ

一瞬にして崩壊します。
急ながけや山の斜面が突然崩れ落ちる現象で、国内でも件数の多い土砂災害です。一瞬にして崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く被害が大きくなります。

豪雨の時には地下は危険です

浸水の危険があるときは早めに避難しましょう

地下室では外の様子がわかりません。

水圧でドアは開きません。

浸水すると一気に水が流れ込みます。

浸水すると電灯が消え、エレベーターは止まります。

地下駐車場は浸水するおそれがあります。

地下道(アンダーパス)

浸水時は通ってはいけません。

道路及び鉄道等が立体交差する場合、鉄道の下を通る道路を地下道(アンダーパス)といいます。大雨・洪水時には、地下道(アンダーパス)は真っ先に浸水してしまいます。地域の地下道(アンダーパス)の場所を把握し、もしもの時のために迂回路を頭に入れておきましょう。普通自動車の場合約30cmの浸水で走行できなくなります。

